

Q1. 豪雨時の安全避難ガイドとは何か？

(答)

水防法の改正に伴い、犀川や浅野川等の洪水浸水想定区域に含まれる本市が、金沢市地域防災計画において定められた「洪水予報等の伝達方法」や「避難施設等」を周知するために作成したものです。具体的には、洪水浸水想定区域及び浸水深並びに上記の項目を記載しています。

Q2. 豪雨時の安全避難ガイドを作成する目的は？

(答)

豪雨時の安全避難ガイドは洪水による浸水想定区域と浸水深の程度、並びに市指定避難場所や避難時の心得など、水害時の対応に必要な情報を住民へ事前に知らせることにより、住民が洪水に対する危険性の認識を深め、その対応について事前に準備することで、水害時の被害を最小限に止めることを目的としています。

Q3. 洪水浸水想定区域図と豪雨時の安全避難ガイドとは、どこが違うの？

(答)

豪雨時の安全避難ガイドは、国や県が作成した「想定し得る最大規模の降雨」による洪水浸水想定区域図に洪水予報等の伝達方法、避難場所及び避難経路などの情報を追記したもので、市町村が作成し、周知します。

Q4. 洪水浸水想定区域図で無着色の部分は、河川からの氾濫により浸水する可能性がないのか？

(答)

洪水浸水想定区域図は、洪水により河川からはん濫する場合について、シミュレーションを行った結果を図示しております。したがって、想定を超える雨が発生した場合や内水がはん濫した場合などには、無着色部分でも浸水する可能性はあります。

Q5. 洪水浸水想定区域に支川が含まれていないのでは？

(答)

県が公表した洪水浸水想定区域図は、犀川や浅野川など、市街地を流れる本川からはん濫する場合に、平成 27 年の関東・東北豪雨で鬼怒川の堤防が決壊したときと同様、特に甚大な被害が想定されることから、これらの河川において優先的に作成した図面です。

主要な支川については、本川とは降雨の規模が異なることから、別途に洪水浸水想定区域図を作成しています。

Q6. 各河川で洪水浸水想定区域が重複している場合はどのように表現しているのか。

(答)

洪水浸水想定区域図は、大雨により河川の水位が上昇し、堤防が決壊するなどはん濫が発生した場合にどのように氾濫し浸水するかをシミュレーションして、想定される浸水の範囲と水深を明示した図面です。豪雨時の安全避難ガイドでは、各河川の洪水浸水想定区域図の結果を重ね、各地点における最大の水深を表示しています。